

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-17 子育て支援事業				タイムスコード及び個別事業名		
	主管課	こども相談課	関連課		1221	子育て支援事業	
分野名	健康福祉				1200	在宅子育て家庭支援事業	
目標 (目標値)	1221 子育ての心理的負担を軽減し、安心して育てられる環境を作る。 1200 在宅子育て家庭に対する支援の充実を図る。						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
運営資源 状況	決算値	5,326千円	5,566千円		指標と評価		
	(国・県)	119千円	40千円				
	(負担金等)		164千円		指標	家事支援活動件数	
	(一般財源)	5,207千円	5,362千円		評価	△	
	人員配置数	0.5人	0.8人		◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	4,652千円	7,699千円			目標値	実績値
	協働の パートナー	NPO法人鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議	NPO法人鎌倉市ファミリーサポートセンター市民会議				
事務事業 運営経費	総事業費	9,978千円	13,265千円	20年度	800	774	
	市民1人当りの経費	56円	75円	21年度	800	674	
	対象者1人当りの経費			22年度	800		
	ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名			23年度	800	
				最終年度(年度)	800		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・ファミリーサポートセンターと比べて、子育て支援事業者の利用料が相対的に高額であり、利用しやすい事業とすように見直しを図るとともに、事務の簡素化を図る。					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 要綱改正を行い、子育て支援事業者を利用した場合の助成上限額を見直し(増額)した。					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 一部の利用者への助成の偏りが見られる。					
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 助成単価の削減や利用時間の制限等の在宅子育て世帯等に対する利用料助成額について検討を行う。					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	子育て短期支援事業については、制度の利便性の向上に努める。 在宅子育て家庭支援事業については、使いやすい事業となるよう検討を行う。		評価結果	改善の必要性	安心して子育てのできる環境づくりを行ううえで、今後とも事業の見直し、子育て世帯への周知を行っていく。	
A	有			A	有		
課長名		田中 誠也		部名・部長名		佐藤 尚之	